



なんぶ

# 議会だより

第77号

令和5年9月議会  
発行/令和5年11月



## 4年ぶりの運動会 (法勝寺地域振興協議会)

- 9月議会審議結果・臨時議会  
……………2～5
- 議長挨拶・一般質問ダイジェスト…6
- 一般質問……………7～14
- 挑戦者たち……………15
- 委員会だより……………16～17
- 令和5年度町政要望への回答…18～19
- 町議会広報探検隊……………20

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



令和4年度  
決算

# 一般会計

賛成 10人 反対 3人で認定

## 9月定例議会

令和5年9月定例議会が7日から28日までの22日間開催された。令和4年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率、法人の経営状況についての報告と令和4年度の一般会計・特別会計の決算をはじめ、令和5年度の一般会計補正予算他6件補正予算、条例の一部改正2件、合計21議案を認定・可決した。また、議員による発議案2件は可決、1議案は否決した。



## 令和4年度一般会計歳入歳出決算

### 討論

#### 反対

- 会計年度任用職員制度の抜本的是正を求める。常勤で求められている職を会計年度任用職員で充当されていることは是正されるべきである。
- 公共施設の在り方について、施設管理を一元化とするよう見直すべきだ。
- 保育園の統合に向けた取り組みについて、話し合い不足、住民への説明不足、議会への説明不足である。
- 地域再生推進法人へ地方創生交付金を補助金として出し続けることが適切か、費用対効果があるのか疑問。

#### 賛成

- 地域振興協議会については、創設12年、地域の課題解決に向けて地域のことを一番に考えて頑張っている。
- 仕事マッチングについては、子育てをしながらでも対応できる仕事、場所を提供していただいております。価値がある。
- 保育園の統合については、説明不足の点もあるがしっかりと説明を受けながら私たちも最終的な判断をしたい。
- コロナ収束前の南部町の住民の福祉、生活をしっかりサポートしながら対応した全体的により決算である。

## 令和4年度一般会計決算の採決結果 (○賛成 ×反対)

議員名 (議席番号順)	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
令和4年度一般会計歳入歳出の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×



公共交通対策事業



汗かく農業者支援事業



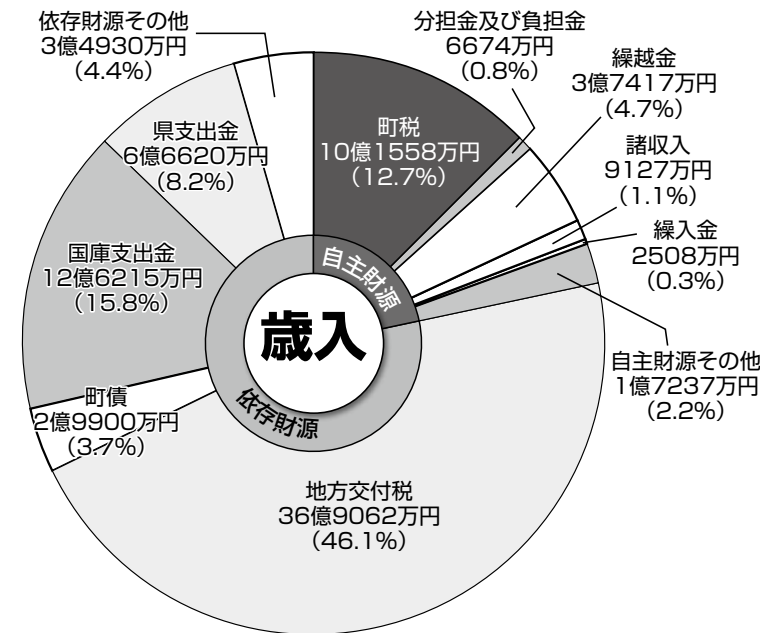
仕事マッチング事業



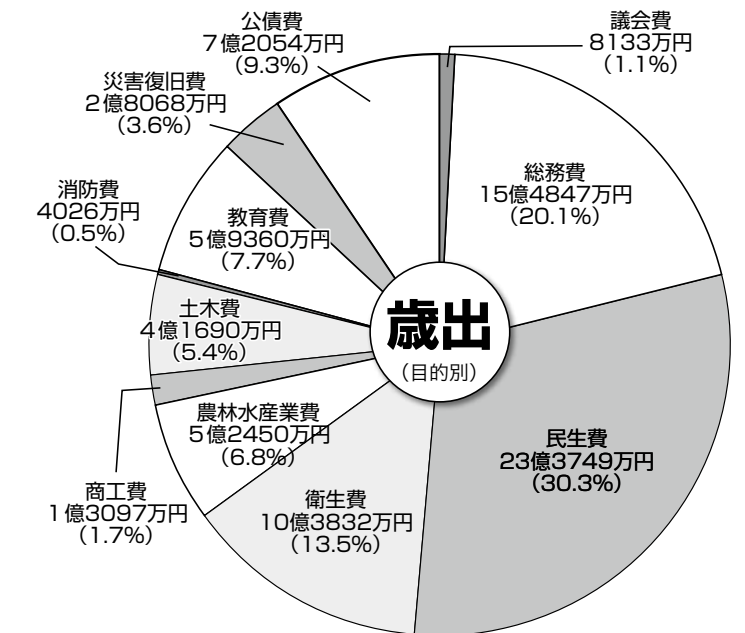
ワクチン接種事業

## コロナ禍・物価高騰対策で住民の生活を支援した!

歳入 80億836万円  
(前年対比7.4%減)



歳出 77億1305万円  
(前年対比6.8%減)



令和4年度の一般会計決算額は、歳入80億836万円、歳出77億1305万円で、この収支から翌年度へ繰り越すべき財源3317万円を差し引いた実質収支は2億6214万円の黒字となりました。この額から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は1億353万円の赤字となった。当該単年度収支に財政調整基金への積立額を加算し、財政調整基金の取り崩し額を差し引いたものに繰上げ償還額を加算して求めた実質単年度収支は4053万円の赤字となった。

(※繰上げ償還は光ファイバ整備事業の実績により借入過大分を償還したもの)

### 主な事業

○里山テレワーク環境整備事業 (緑水湖研修センター)	9124万円
○公共交通対策事業	6520万円
○仕事マッチング事業	2100万円
○生活支援地域活性化事業	1億721万円
○生活困窮者に対する光熱費助成事業	1819万円
○住民税非課税世帯に対する 臨時特別給付金支援事業 (繰越含む)	3176万円
○電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業	4562万円
○上水道事業 (上水道基本料金の減免)	4404万円
○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	5931万円
○汗かく農業者支援事業	3242万円



里山テレワーク環境整備事業  
(緑水湖研修センター)

# 令和4年度 特別事業会計決算の認定採決結果 (○賛成 ×反対)

会計名(決算) / 議員名(議席番号順)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)	谷田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
国民健康保険事業特別会計	129,905	127,358	2,547	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
後期高齢者医療特別会計	17,394	17,153	241	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
農業集落排水事業特別会計	23,028	23,026	2	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
浄化槽整備事業特別会計	5,947	5,947	0	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公共下水道事業特別会計	17,726	17,718	8	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
水道事業会計歳入歳出	21,935	19,672	2,308	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

## 9月定例議会 条例の一部改正

**全会一致で可決**

- 職員の特務手当に関する条例 コロナ感染症防疫作業の手当支給の廃止
- 町営バス管理及び運行に関する条例 南部エリアのタクシー型運行に伴う改正

## 令和5年度年度補正予算

歳入歳出それぞれに6千669万円を追加し、歳入歳出をそれぞれ79億4,810万円とする。

**全会一致で可決**

### 一般会計補正予算の主な内容

	補正額	合計(万円)
●公共交通対策事業 南部エリアA I デマンド運行システムの導入。	1086万円	8305万円
●生活困窮世帯に対する光熱費助成事業 住民税非課税世帯に県補助金17,000円を含め34,000円の光熱助成金を支給する。	1595万円	3133万円
●参加型農業事業(新規事業) フルーツロード構想のプロモーション戦略作成。	410万円	410万円

## 特別会計補正予算

**全会一致で可決**

農業集落排水事業・浄化槽整備事業・公共下水道事業・病院事業会計・太陽光発電事業、それぞれ補正予算が上程されました。西迫病院では病院医療再編に伴い、介護医療院病床へ変革する。

## 請願・陳情結果

一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める陳情

**全会一致で採択**

消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情

**賛成少数で不採択**

※陳情・請願とは町民皆さまが、困っていることや意見要望を町政に反映させる方法の一つです。

## 発議

一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める意見書

**全会一致で採択**

アルプス処理水の海洋への放出中止を求める意見書

**賛成少数で不採択**

町立保育園の統合・民間移管等調査特別委員会の設置について

**賛成少数で不採択**

※議案は通常町長から提案されますが、陳情・請願が採択された場合、議員発議として意見書を提出します。また、3人以上の賛成者で独自の発議案も提出できます。

# 特別会計決算会計報告

**全会一致で可決**

会計名(決算)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)
墓苑事業特別会計	146	127	19
太陽光発電事業特別会計	8,209	7,834	375
病院事業会計	239,436	235,078	4,358
在宅生活支援事業	59,384	44,728	1,465

## 太陽光発電事業特別会計

歳入・歳出で375万円の黒字であった。これは翌年度に繰越す金額で、歳出には基金積立金2565万円、自然エネルギー関連に1480万円を一般会計に繰出しており、順調な売電収入と町事業へ貢献する事業会計となっている。

## 特別会計決算認定の討論

### 国民健康保険事業 後期高齢者医療事



西伯病院診療

### 討論

**反対** 法定減免などの減額制度がありながら滞納が増えており国保税引き下げを求める。年金額は下がるが負担は増えるという状況。高齢者になると病気がちになり、医者にかかる機会も増えるので医療費個人負担が増える。住民生活を無理のないものとするため負担軽減に努めることを求めて反対。

**賛成** 医療費給付費が年々高くなっている状況の中で国保税の引き下げは困難。後期高齢者の方は医療費負担が1割負担として、若い方よりも軽減されている。払えないという現状も決して分らないが、後期高齢者の方が安心して医療を受けられる体制を維持するためには認定すべきと賛成。

### 農業集落排水事業 浄化槽整備事 公共下水道事



下水道処理施設

### 討論

**反対** 公共料金の意味合いがあり、物価高騰の時期にあっては値下げをするべき。また減免制度を設けるべき。事業を広域化した場合も一般会計からの繰り入れを継続することだが、公営企業会計にした場合に現状維持できるのか心配という3点で反対。

**賛成** 一般会計から多額の繰り入れをしてやっと収支を合わせている。更にこれを値下げすることは経営悪化につながる。減免制度にしても会計維持としては困難。公営企業会計化については既に準備が進み全国的な話であり進めざるを得ない。

### 水道事業



老朽管布設替工事

### 討論

**反対** 新型コロナの影響で基本料金の減免が続いたが、年間を通して続けるべきであることを指摘して反対。

**賛成** 新型コロナの交付税が入ったため、減免をすることができたが年間を通して減免することは難しい。将来に向かって健全経営をするために軌道に乗ってきたところであり、負担軽減するより当面は現状維持すべき。

令和5年9月議会を終えて

南部町議会議長 景山 浩

現在、鳥取県内の各市町村では、主に議員のなり手不足を背景とした議員報酬引き上げの問題が盛んに議論され始め、西部地区でも報酬審議会への諮問が予定されています。

この報酬引き上げは住民の皆様のご理解が必須で、なかなか実現が難しい問題である一方、現状を鑑みれば避けては通れない問題でもあります。

南部町議会では、議会改革特別委員会の中にワーキンググループを設け、まずは議会や議員の位置づけや役割の明確化、そしてそれを明文化した議会基本条例の改正から取り組みを始めようとしています。

これは、単に議会の内部問題ではなく、南部町の議会制民主主義をどうするのかという町民全体の問題です。来年は改選を迎えますが、それまでにできるだけ多くの機会を設け町民皆様のご意見を聴取したいと考えています。

あなたの声を

町政に問う！



**【質問の通告】**  
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

**【一般質問の時間】**  
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

令和5年9月定例議会一般質問ダイジェスト

議員名	発言時間	質問事項
1 荊尾 芳之	30	1 保育行政
		2 商工振興対策
2 長束 博信	30	1 地域防災と環境整備
		2 町有施設の耐震性
3 真壁 容子	30	1 町長の地方政治に対する認識
		2 保育園の統合・民間移管問題
		3 町道の維持管理
4 加藤 学	30	1 農業者支援制度
		2 保育園
		3 地産地消と食育
5 亀尾 共三	30	1 物価高騰対策
		2 健康保険証とマイナンバーカード
6 板井 隆	30	1 ふれあいバス
		2 保育園統合
7 仲田 司朗	30	1 新型コロナウイルス感染症
		2 西部地域の風力発電事業
8 細田 元教	30	1 防災減災施設
		2 脱炭素施設
		3 保育園問題

一般質問

保育行政

Q さくら保育園とつくし保育園の統合は A 統合・民営化する方針だ



**町長** 一つ目は、開園時期が令和6年度を目指すとしていたが、現状では令和8年度以降になる見込みだ。

**荊尾** 統合する保育園の新園舎の建設場所は、いつ、どのように決定したのか問う。

**町長** 令和2年12月に子ども子育て会議で、位置は交通の便がよく、防災上の安心安全、里地里山の活用という方向性が決まり、令和5年1月、保育園あり方検討委員会で策定された基本構想の中の候補地の評価基準により絞り込んだ。

**荊尾** 3か所の候補地を点数評価していたら、その結果を参考に、専門家や関係者の意見を聞き町長が4月上旬に最終結論を固めた。

**荊尾** 今後の保育園の運営について、これまでと変更になった事項は何か問う。

**町長** 二つ目は、建物建設主体の変更だ。当初は、民間事業者による園舎の建設、運営としていたが、園舎建設は町が行い、民間と公私連携協定を締結してその建物を民間へ無償貸与を行い、私立保育園として開設する方式に変更をする。これは、町が建設し、それを民間が借り受けて保育園を運営する場合、設置者が民間であれば、運営の補助対象となれることが判明したためだ。

**荊尾** 町長の事業の進め方について、住民の理解を得られるのか、また伯耆の国との協議は整っているのか問う。

**町長** この度の保育園統合については、2園が1園に減

商工振興対策

Q 地域通貨制度の開始は A 11月から事業をスタートさせる

少すること、定員が減少すること、旧町をまたがること、建設場所を新たに決定する必要があることなど、多くの検討事項があり、結果的に時間もかかった。

大きな方針である統合・民営化するという方針は本議会で示し、早めに広報に掲載するなど、町民の皆様には知らせる。

**荊尾** 今年度地域通貨制度の予算化がしてあるが、いつから事業開始となるか問う。

**町長** 地域活性化ポイント導入事業については、令和5年11月1日から事業を開始できるように、現在準備を進めている。

**荊尾** この事業の内容や住民にとって、また商店にとつてのメリットを問う。

**町長** 事業内容は、南部町内限定で使用できる電子マネーの導入を行い、町民の皆様に地域通貨の入ったカードを配布する。

地域通貨とは、紙幣としてではなく、電子マネーとして発行し、限定された地域内で流通す

る独自の通貨のことをいう。住民のメリットは、買い物で使用する現金をカードにチャージすることでポイントがたまる仕組みだ。たまったポイントは買い物で使える。商店のメリットは、町外の店舗を利用していただく方が、ポイントでお得に買い物ができる、住民が町内の店舗を利用し、町内消費が拡大する効果が期待できる。



### 地域防災と環境整備

Q 防災計画で特に重要なものは何か

A 大規模災害、激甚災害の教訓を反映し見直す



ながつか ひろのぶ 議員  
長束博信



**長束** 地域防災計画は見直しされたが何を直したのか。

町の地域防災計画を進めていく上で特に重要なことは何か。

**町長** 今回は、①鳥取アクシヨンプラン想定追加②受援、

応援計画の具体化③防災ため池の追加④新たな指定避難所の追加⑤添付資料の追加を行っている。

特に重要なことは、大規模災害、激甚災害などの教訓を反映し、町民の生命、財産を守るための対策を実施するため、必要に応じ見直し、改訂などが重要と考える。

**長束** 地域・集落で災害や避難に備える訓練が必要と考えるが、その訓練計画はどのように進めるのか。

**町長** 町が進める防災訓練は年2回。自主防災活動として、地域振興協議会や集落単位で行って頂いている。防災訓練計画ができない場合は、イベントや行事に併せて防災訓練をブラサルファするなど工夫されることを推奨している。

**長束** 訓練で使用する避難場所の環境で一例だが円山の道路網の行き止まりを改善する考えはあるか。

**町長** 行き止まりの道路が防災上の観点から課題となりそうだが、避難行動など工夫すれば問題ないと思われ、周回道路などを改善する考えはない。しかし、一時避難所への行き止まりに通路設置は防災上有益であれば前向きに検討したい。

**長束** 避難所では様々なものが必要になるが環境整備は準備されているか。

**町長** 指定避難所では、短期的と長期的開設の場合があり、準備から開設までを行政職員だけでは十分でなく地域住民の協力を得て開設、運営する事が最良の対策と考える。当面、県の連携備蓄などを使用し3日間運営できる準備をしている。



町有施設の耐震性  
Q 今後の耐震化計画と施設の存続・廃止は  
A 計画見直しと個別施設計画に定めている

**長束** 町有施設の耐震性について診断した結果はあるのか。今後の耐震化計画はどうするのか。

**町長** 町長 平成29年に実施した耐震調査では、特定建築物では、耐震化率96%である。一方、集会所、住宅等それ以外では耐震化診断、耐震改修が進んでいない。当該計画の見直しと施設整備の今後の在り方を踏まえ、改めて施設の現状を再点検し必要な措置を講じて行く。

**長束** 施設を将来、存続・廃止する判断基準はあるのか。あるなら、どのような基準か説明を求める。

**町長** 公共施設等総合管理計画を平成29年3月に策定し、令和4年3月に見直しを行っている。令和2年11月に個別施設計画を策定し、施設ごとに今後の方向性として、改修継続、集約化、複合化、譲渡、転用及び廃止を定めており、この計画を将来、存続、廃止する判断基準と定めている。

### 保育園の統合・民間移管問題

Q 現場や保護者の声をどう聴いてきたのか

A 子ども子育て会議などで論議し公開してきた



まかべ ようこ 議員  
真壁容子



**真壁** 園の統合、定数削減、子ども園化、民間移管についてこれまで現場や保護者町民の声をどのように聞いてきたのか。

**町長** これまで子ども・子育て会議の中で議論をいただき、中には園の保護者や住民もおられた。会議は公開で資料や会議録はホームページで公開している。住民参加による直接の会は開催していないが、メールやホームページでの匿名による意見が利用しやすい環境にあるが、保育園問題に関しては特に意見を頂戴しているわけではない。

**真壁** 町長は子ども子育て会議や行財政委員会、あり方検討委員会等で意見を聞いたというが、「大学の先生の声を聴くのもいいけど、保護者の意見を直接聞いてほしい」との声もあった。どうして住民の声をじかに聞くことができなかったのか。

**町長** デジタル化のなかスマホ一つで意見が町政に対してできる時代になっている。直接向き合う機会を作らなかった、少なかったことは認識しているが、つくし・さくらの保護者と一緒に議論したときは、「よくわかった、いい会だった」との声もいただいている。

**真壁** 議会主催の会では、保護者から「保育所は保育士が一番だ、保育士の処遇改善をしてほしい」という声が上がった。「いくらい建物建てても保育士がどのような保育ができるかだ。保育士は激務なのに給料が安い」このような声こそ町づくりのヒントがあるのではないか。

**町長** 若者の意見を聞くというのは非常に重要なことと思う。今回円卓会議で高校生も含めた若者たちが集まってくれてありがたかった。いろんなチャンネルの中で考えていかなくてはいけない事項だと思つ。

**真壁** そこがずれている。今、保育園をどうしようかと言うときに（高校生に）聞く時間はあり、いきいきサロンや百歳体操には出かけるのに、どうして今大きな課題となっている保育園のことで保護者に聞けないのか。

**町長** 場所の問題が問われているが、人気投票であったり皆さんに常に諮ってすることは不適格だと思った。専門的な意見を聞いて、最終的に町長が判断し、提案する、この方法にいささかも問題はないと思つ。



**農業者支援制度**

**Q 小規模農家へ対する補助が必要  
A まだ議論の余地がある**



加藤 学 議員



**加藤** 南部町で農業耕作地を将来的に維持するための施策は何か。

**町長** 集落営農や法人化による規模拡大を支援すること。

それと、中山間地等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用することで、集落と団体で農地保全活動の活性化と、農業の担い手に農地を集積して行くこと。

**加藤** 南部町で兼業農家や小規模農家を支援する制度は何かがあるか。

**町長** 提出資料を配布している。(下の段に掲載)

事業名(補助金名称等)	目的
中山間地域等直接支払交付金事業 (南部町中山間地域等直接支払交付金)	①対象地域における農業生産活動等を継続するための活動 ②対象地域における農業生産活動等の体制整備のための活動
多面的機能支払交付金 (南部町多面的機能支払交付金)	①農地維持支払 ②資源向上支払

配布資料より一部抜粋  
⑤アンダーラインは加藤による。

**加藤** 兼業農家、小規模農家に対する補助を厚くすることを求める。

**町長** 個別農家に対する補助は考えていない。

**加藤** 汗かく農業者支援事業は購入した機械を半額補助する制度で大変に良かった。しかし、機械を購入すれば2年目

以降の農作業は楽になるが、米価は下がったまま。農家が米を生産するのに苦しいのは変わりがない。やはり、補助が必要である。(左にコシヒカリを例に掲載)

**J A 西部米支払概算金 抜粋 (単位: 円 / 30kg、税込み)**

種類	等級	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
コシヒカリ	1等	6,700	5,300	5,500	6,400
	2等	6,400	5,000	5,250	6,100
	3等	5,900	4,700	4,950	5,700

令和2年度の金額まで回復していない。  
⑤太ケイ部分は加藤による。

**町長** 議員が言うことは良く分かる。集落を維持し、里山や農地を維持管理して行く地域政策と米価の問題であり、農業がなりわいとして成り立つかどうかの産業政策の両方を

みながら、やって行くことが求められていると考える。

**加藤** 大規模に農地を維持管理している所が1つ駄目になると大規模な農地が放棄される恐れがある。小規模農家が(大人数で)農地を維持管理していれば、一つの農家が農業を辞めても、耕作放棄地は広がらない。そのためにも小規模農家への補助が必要ではないか。

**町長** 小さな農業、家庭的な農業を地域の人が地域を守るため地域農業に取り組んでいるのであれば、地域政策の補助として考えていく必要があるかもしれない。

中山間地等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の補填的なものとして考える方向性もあるかもしれない。

農政としてやるかどうかはまだ議論の余地がある。

**物価高騰対策**

**Q 公共料金の引き下げで家計支援を  
A 現時点では考えていない**



亀尾 共三 議員



げをする考えはないか。また、支援については、全世帯を対象にすることを求める。

**亀尾** これまで経験したことのない猛暑で、体調管理のためエアコンの利用は欠くことができないが、電気料金を考えると恐ろしくて、できる限り我慢をしていたと声をよく聞いた。電気料金に限らず、物価高騰の影響で暮らしは大変だ。

**町長** 町民の支援、家計支援として、ガソリンなどの割引券等を発行する考えはないか。

**亀尾** 町独自の事業の利用料の軽減、公共料金の引き下げ

**町長** 長引くガソリン等や電気代、物価の高騰については、町長としても町民の生活の不自由さをいろんな方面からも聞いており、苦慮している。燃料費については国の支援の継続もあり、動向を注視している。

今回の9月補正で、県と協調し、生活困窮世帯(非課税世帯)に物価高騰・燃料費高騰等の支援策をお願いしている。全町民への限定的な対策としては、6月補正で水道料金の基本料金を本年度いっぱい減免することになっている。

また、全町民へ4500円分のポイントを付与したカードの配布も行う。このような取り組みを行っており、現時点では、利用料金や公共料金を引き下げ

**健康保険証とマイナンバーカード**

**Q 現行保険証の利用を政府に求めるべき  
A 国に要請するのは考えていない**

**亀尾** 政府は、来年の秋から、現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化したマイナ保険証を国民に押し付けようとしている。マイナ保険証を所有しない人には、資格確認書をするといっている。本来、マイナンバーカードの取得は本人の希望で申請することが基本ではないのか。

**町長** マイナンバーカードは、住民の申請により交付することにしている。カードの取得は義務ではない。

**亀尾** 政府に対し、マイナ保険証への統合を無期限に延長し、現行の保険証を利用できるように要請することを求める。

**町長** 国ではマイナンバーカードと健康保険証の一体化やカードの利用範囲の拡大などの法改正が成立している。デジタル庁もマイナンバーカードの

促進が国民生活の利便性の向上につながると思うと述べている。南部町では資格確認書により町の負担が増えるとは考えておらず、マイナ保険証への統合を無期限延期し現行の保険証を利用できるように国に要請することは考えていない。



### 保育園統合

Q 保育園の環境構成について

A 保育環境は大変恵まれた立地を選んだ

を説明した。

#### 背景

厚生労働省が保育所保育指針で定める保育の環境は人的環境、物的環境、自然環境、社会的環境で、保育園の設計画のときから検討し、子ども達の発達過程でどれもはずせないとしている。

園児の送迎や保護者の通勤にも適した場所はパイパス沿いの三崎地区だと思っ

ているが、町長の考えを問う。

町長 中間点として住民全体の納得性から言えば、私も三崎地区だと思っている。

板井 統合、民営化は賛成だ。

ただ、議決を行使する議員として町長が推薦する天万予定地は白紙に戻すべきと思う。

町長 場所の論争より、純真に子どもたちの健やかな成長、その環境をつくることをお互いにしていく、それが二元代表制の議会と町長の役目であると思っている。

#### 板井

町長は現状についての説明会を開催したが、その状況を問う。

#### 町長

つくし・さくら保育園の統合、民営化に係る説明会を両園の職員、保護者、一般町民、予定地の地元集落のそれぞれに説明会を開催した。

民営化については、伯耆の国と公私連携協定を結び、安心安定した保育運営を進める。

場所については、安全性、自然環境、交通アクセスと広さ、騒音等を重視して決定したこと

### ふれあいバス

Q 利用しやすい公共交通対策を

A 利用者の利便性を一番に考える

開催された。住民の反応、意見

と対応について問う。

町長 一時間前の予約を短くできないかとの意見があった。

北部は30分前なので試験運行

状況を踏まえ検討したい。

朝のスクール便の影響を懸念する声があったが、これまでの状況から影響はないと考える。

農協西伯支所までの乗入れの

希望があった。内部協議が順調に進めば10月から乗降ポイント

に追加できる。利用者の利便性を一番に対応したいと思っ



議員 板井 隆



#### 背景

タクシー型乗合いバスが北部エリアに次いで、10月から南部エリアでも試験運行される。用者にとって利便性は高まるのか不安もある。

#### 板井

一年が経過した北部エリアでの利用者の声、町としての見解と対応を問う。

#### 町長

現状で土・日曜は運休しており、運行を期待する声がある。また、車両の小型化や用事が終わるまで待つてほしいなど、タクシーに近い形を望む声があり、対応を考えている。手始めに、10月からタクシ

#### 板井

南部エリアでは試験運行に先立ち、住民説明会が

### 西部地域の風力発電事業

Q 町内への施設設置について

A 反対の意見をしている

いている。

この風力発電事業に計画地の地形、地質等から難色を持っているとのことだが今

も変わりはないか。

南部町では、平成29年9月の配慮書と平成30年3

月の方法書に対して、南部町全域が里地里山に指定されていることを踏まえ、豊かな自然環境に影響を及ぼすことや起こりえる自然の景観を損なうことが懸念されることから本町への施設設置については反対する意見を

#### 背景

数年前、風力発電事業について、関係集落の説明会を対象事業実施区域に南部町が入っており、8基を設置する計画があった。そして、地権者の同意を得て事業実施とのことであった。

#### 仲田

現時点での風力発電事業の状況はどうなっているのか。

#### 町長

本町を含む鳥取県西部において民間事業者による風力発電事業が進められている。この事業は、伯耆町溝口地域を中心とした計画であり総出力14万4000キロワット、基数にして最大34基程度の風力発電機の導入を目指すもので、本町には8基程度が設置される見込みと聞いている。

他町村の動向について、伯耆町・日野町・江府町からは南部町と同様大きな動きはないと聞

### 新型コロナウイルス感染症

Q 秋開始のワクチン接種について

A 接種券で個別の接種勧奨をしている

高い傾向が見られる。

秋開始のワクチン接種について未接種者への接種勧奨は個別にするのか。

7回目の接種券を発送している。これまで3年間の感染者の状況並びに変異株の

変遷を知らせて接種を呼び掛けている。これを個別の接種勧奨としている。

#### 仲田

新型コロナウイルス治療薬は9月30日までは公費負担であるが、10月から自己負担となるため、陽性者の治療費が負担増になるので町独自の軽減措置はないのか。

#### 町長

国の動向を注視していただけ適切に医療を受けていただきたい。町としては、単独で負担軽減を行うという考えはない。



議員 仲田 司朗



#### 背景

厚生労働省は外出自粛の要請や入院勧告などの厳しい措置を取ることができる2類相当から5月8日より季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、感染対策は個人や事業者

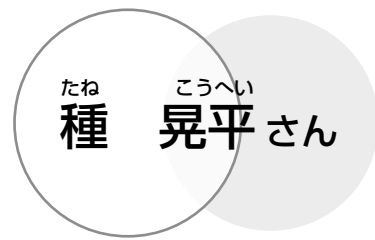
#### 仲田

南部町のワクチン接種状況は、どうなっているのか。

#### 町長

令和5年8月31日時点  
1回目の接種率 86.6%  
2回目の接種率 86.2%  
3回目の接種率 76.3%  
4回目の接種率 57.6%  
5回目の接種率 37.1%  
6回目の接種率 24.6%  
年齢別では、若年層での接種率が低く、65歳以上の高齢者が

南部町在住の陶芸家



たね 種 こうへい 晃平 さん

趣味の域を超えて陶芸活動をされています。「ちょこんと置いて、癒しを提供できたら」がコンセプトの作品が目立ちます。



?

Q 陶芸に出会ったのは?

A 鳥根大学で陶芸部に出会って入部。それまではテニスをしていてどちらかと言うと運動部系。でもモノを作るのは好きでした。授業が忙しかったので、一日で形に出来る小さい置物を作ることが多かったです。

Q どんな活動をされていますか?

A 声が掛ければ陶芸教室を開催します。展示会も声がかかれば行きます。先日は伯耆町二部のお祭りで、展示即売会を行いました。

作品はユニークなものばかり



オオサンショウウオ



カキ



あまびえ



ふくろう



きのこ

一般質問

細田

これまでに住民の意見を聞いたことがあったのか。また保育所職員、保護者、

地元住民、地権者に十分な説明があったのか。両園の保護者から交通アクセス等の利用性、利便性についての評価がされたのか。新しい保育所を建設する際、町の政策にどのような立ち位置になるのか問う。

背景

議員活動の一環として地元の一部、その他保育園の保護者、町内の商工会、建設業協会、町長後援会、元議員、金融関係など色々な組織の一部の方々に、保育園の建設場所について聞いた。10人が10人も、何故その場所なんだと言う返事が戻って来た。



ほそだ もとあき 細田元教 議員



保育園問題  
Q 一旦全てを白紙に戻し一考を求めろ  
A 子どもの保育環境を大事にしたい

町長

候補地を選定するための判断要素、判断基準については、公平性、客観性を明確にするため、あり方検討委員会を組織し、基本構想の作成をはじめ、建設候補地の評価に携わってもらった。結果、最終候補地については、庁舎内関係課で検討して、絞り込んだ3つの候補地をあり方検討委員会に評価基準により採点してもらい天萬地区が最も適していると判断した。

保育所職員等への説明、経過、決定では、新しい保育所の整備に向けて一緒に考えてもらうようにした。交通アクセスについては、いずれも国道、県道の幹線に近く、保護者にとっても便利だと考えている。保育所整備は、人口増加、少子化解消の1つのツールと考えている。自然に恵まれた環境を最大限に

細田

建設予定の場所に建設費7億円を投資し保育所を建設したとして、色々な問題解決となりうるか疑問である。

ここは一旦白紙に戻し、大山が堂々と見え白鳥が飛び交う旧会見地域に建設し、そこから新しく天萬を中心とした文教地域に生まれ変わらると思う。一考を求めろ。

町長

確かに大山が見え白鳥が飛んでる姿は南部町の誇りに保育園しかない、そういう姿はいかがと思う。

子どもたちを育てる環境は、子どもたちの健やかな成長を一番に考えることだと思っている。若い人たちの意見をSNS等で意見を聞きたい。

生かし特色のある保育サービスを期待するものである。今後の具体的な施策については検討したい。

議会活動日誌

9月		会議・行事
2	土	つくし・さくら保育園の保護者との意見交換会
7	木	議会運営委員会 議会全員協議会 定例議会 本会議
8	金	定例議会 本会議
11	月	定例議会 一般質問
12	火	定例議会 一般質問
13	水	地方行政調査特別委員会 議会改革調査特別委員会 常任委員会
14	木	常任委員会

15	金	常任委員会
19	火	常任委員会
20	水	常任委員会
21	木	常任委員会
22	金	常任委員会
25	月	地方行政調査特別委員会 議会改革調査特別委員会
26	火	常任委員会 議会全員協議会
27	水	議会運営委員会 議会全員協議会
28	木	定例議会 本会議 広報常任委員会①





# さくら保育園・つくし保育園の園舎視察

さくら保育園、つくし保育園の統合計画に関して、当委員会では園舎の老朽化を中心に視察調査を行いました。

築43年になるさくら保育園では、廊下床の痛みをはじめ水回りやテラス屋根など経年劣化による修繕跡が見られました。さらに更衣室もなく、仕切り壁にはめ込んであるガラス板は保育士が相当危険で気を使うところだと伺いました。

さくら保育園



園長から聞きとり



テラス屋根被害

つくし保育園では、築35年とさくら保育園よりは新しいが、雨漏りの影響なのか床や柱の基礎部分の痛み、屋根材の剥がれ、布団をしまう押し入れの痛みなど多数修繕している事がわかりました。両園ともに西部地震後の影響がじわじわと出てきたのではと考察しています。

つくし保育園



屋根材の補修跡



フェンスの破損

両園の歴史は時代の流れとリンクしています。昭和30年代の農業は3ちゃん（おじいちゃん、おばあちゃん、おかあちゃん）農業と言われていました。しかし、高度経済成長期の中でお母さんも家計を支える一員として働きに出るようになり、幼児を誰がみるのかという課題の中で両園は生まれてきます。

しかし今、子供たちも減り、園舎も老朽化し保育士の確保も難しいという時代にあって、私たちは保育園の将来像を考えその課題に答えを出していかななくてはなりません。



# 「住民の声を聞く会」を開催しました。

— 保護者7名、議員全員参加 —

保育園統合に係る、つくし保育園とさくら保育園の保護者を対象としました。

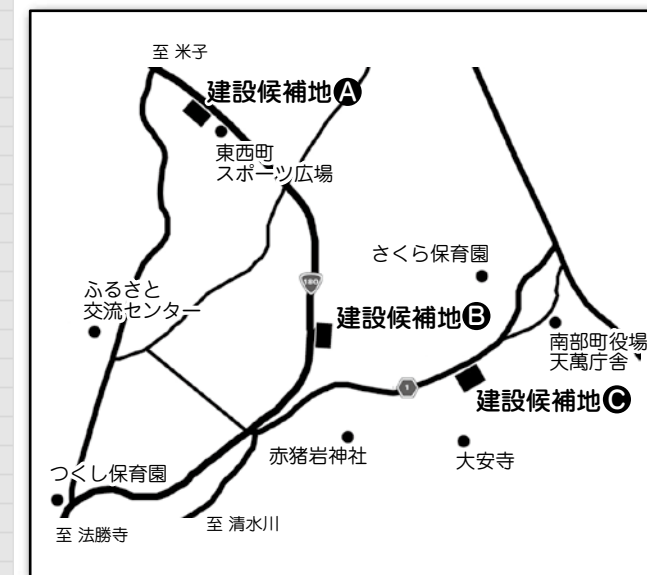
9月2日（土）に総合福祉センター「いこい荘」で保護者の意見や思いを聴き、議員からの質問を含め保護者の方々の声を聴くことができました。

## 【参加者の声】

- ・孫がつくし保育園でお世話になっている。法勝寺川氾濫の危険性があり、早く安全な場所への統合を望んでいる。
- ・3か所の候補地を見てBが良いと思ったが、保育資源が豊富な場所も悪くない。
- ・統合は仕方ないが、C地点のすぐ横が土砂災害の警告地域で不安である。
- ・C地点の交通アクセスが、雨や雪の時に消防署から会見側の県道が狭く危険だ。
- ・民営化になれば、保育士の対応は心配していないが、資金繰りを心配する。
- ・園児の定数が減る。定員になったとき、すみれ、ひまわりに回すとの説明であったが、ちょっとどうかなと思った。
- ・建設ありきで、保育士は激務のなか働いてくれている。待遇が悪くならないよう対応していただきたい。
- ・議員は統合に関し初めて保護者の声を聴くというが、もっと声を聴き、議論してほしい。

## 【議員からの質問】

- Q 民設民営について、町の運営でなくなるが心配ないか。
- A 町営・民営のどちらがとは思っていない。最終的に町が責任をもてばいい。
- Q 場所が決まってからの話かどうか。
- A ・非常に不満だがしょうがない。  
 ・先日の保護者会への説明会の案内文に「決定理由の説明」とあった。  
 ・パブコメは受けているとあったが、どの時点で自分たちの意見を言えたのだろうと思う。
- Q 議決機関の議会に臨むことは何か。
- A ・用地選定については、0ベースから考えて欲しい。  
 ・建設地に対してもう少し議論の場が欲しい。  
 ・一番思うのは現場の先生の声を聞いてほしい。



皆さんの声を執行部に届けることで議会の使命を果たします。「つくし・さくら保育園」統合に係るアンケートを実施することとなりました。  
 (対象者)町内保育園を利用する保護者(232世帯)  
 今後利用性の高い方(約50世帯)、その他若年層。

## 令和5年度 町政に対する要望事項への回答

## 1. 人口減少対策（子育て支援課、建設課）

**回答** 結婚支援対策を充実させ、子育て支援対策ではオムツ支援事業など新規の事業を立ち上げた。今後は各事業の満足度を分析し、町外に情報発信をしていく。

(1)人口減少により集落維持が困難に、県道や集落間の道路の草刈り作業等が出来ない。早急に対策を求める。

**回答** この事業を実施している団体や近隣町村に聞き取りを行い、制度見直しを進める。

## 2. 農業対策（産業課）

(1)生活が成り立つ農業にすること。

**回答** 水田収益力強化ビジョンを策定し、水田における高収益作物への作付転換を進める。また、麦・大豆の国産化プランを推進するため、国の産地生産基盤パワーアップ事業の活用に着手した。農業の生産基盤強化については、担い手を中心に鳥取県事業を活用した機械導入を推進し、基盤強化に取り組む。

(2)離農を防ぐことにより耕作放棄地をださない「汗かく農業者支援事業」の次の一手の施策を求める。

**回答** 法人や集落営農組織、認定農業者等、県の補助を活用し生産効率の向上の支援をする。また、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を積極的に活用し、小規模農家維持・支援を行う。

(3)米の買取価格が戻らない。肥料、飼料の高騰対策として、町の独自の支援策を求める。

**回答** 米価の下落、肥料、飼料、燃料費等の高騰の動向等を注視し取り組みを進めている。国県等の活用できる補助金等や近隣市町村の状況把握など、本町で実施できる対策を進めていく。

## 3. ため池の防災対策（総務課、産業課）

(1)防災重点ため池の改修整備工事を行うと受益者負担が発生する。受益者負担が厳しい。新たな対策を求める。

**回答** 本町は受益者負担の負担率は低い方である。町独自に受益者負担の低減策は困難であるが、現状の受益者負担が維持できるよう、協議を進める。

(2)現在、放置されたため池があり、水害災害等でとても危険である。存続か廃止か決定し、廃止の場合は、埋め立てや堤を開削して危険防止を図ることを求める。

**回答** 防災重点ため池以外のため池については、平成25年度調査から時間が経過している。管理状況等を再確認し、今後の方向性を検討する。

## 4. 公共施設の整理をされたい（総務課、産業課）

(1)手つかず、投げっぱなしの公共施設が見受けられる。早急に公共施設の存続か廃止か、または地域への移譲かなど方向性を出すこと。

**回答** 利用率が低いか休止状態にある施設の休廃止を協議している。老朽化や設備の不足している施設でも必要なものは認識している。多額の財源が必要となるものは早急に方針を決定するのは難しい。引き続き検討する。

(2)存続を決めた施設は、適正な修繕等を実施し、安全に使用できるようにすること。

**回答** 当初予算で計上済みのところは、修繕の必要が発生した場合は早急に行う。そうでない場合は、予算流用及び予備費の活用を行って対処する。

## 5. 地域内経済の循環の活性化を図る（企画政策課）

(1)町民のお金が町内で回るようにすること。町内事業者へ仕事が発注となるシステムを構築すること。

**回答** 11月1日よりタスカードを運用する。町内事業者への仕事の発注上限額を100万円から随意契約額130万円に出来ないか商工会工業部会と協議を行っている。

## 6. 町道認定（建設課）

(1)町道認定の基準を改定することを求める。

**回答** （進捗）令和5年4月1日より見直す。

## 7. SDGsの観点から人権対策の強化を求める（教育委員会）

**回答** ミカエル・セミナー等の施策を企画・立案し、幅広く町民に広報しながら同施策を推進する。

## 8. 保育園の統合・運営（子育て支援課）

**回答** 現在進行中の事業。新たな建設候補地は天万。運営は伯耆の国と調整を進めている。

## 9. 環境対策のさらなる充実（町民生活課）

(1)再エネ省エネ設備への補助拡大を求める。

**回答** 2050年のゼロカーボンに向け、家庭への再エネ設備導入促進のため、令和6年度予算の補助制度の見直し等を検討する。

(2)硬質プラスチックの回収についてCO2削減に資するよう改善してほしい。

**回答** 住民負担や市町村の財政負担を考慮しながらCO2削減に向けて対応する。

## 10. 中学校制服の補助制度（教育委員会）

(1)令和7年度以降も補助制度を継続してほしい。

**回答** 令和6年度の状況を見た上で検討する。

## 11. 学校給食費の保護者負担（教育委員会）

(1)給食費の負担軽減を求める。多子世帯へは、一層の負担軽減を求める。

**回答** 令和5年度学校給食費は小・中学校ともに値上げしたが、保護者負担は据え置き、値上げ分は町負担とした。また、多子世帯については、引き続き国の動向をみて検討する。

## 12. 前立腺がん検診（健康福祉課）

(1)前立腺がん検診を健康診断の中に再度入れてほしい。

**回答** 検査を希望される方にはPSA検査を受診していただく。

# 天空の村出現!?

## 南部町のマチュピチュか

学校や社会に馴染めないと感じ、ひきこもりの状態にある人は全国で約115万人いるといわれています。

「いくらの郷」を訪問した私たちの目に飛び込んできたのは薪材に大きな斧を打ち込む若者たちでした。

高く積まれた薪の山、ほとばしる汗、すっかり日に焼けた顔。「ここを訪れる若者たちは、地域の人々とともに自然の中でハチミツ作りや農業体験を通じて、乾いたスポンジが水を吸収するようにどんどん元気になっていきますよ」と、そう語るの  
は所長の坂本昭文さんです。

この夏、若者たちと地域の人々と共につくり上げた「火まつり」はイリュージョンの世界が広がっていました。まさに空に浮かぶ「天空の村」力強くも美しい炎は満たされようとする若者たちの魂のようである。

お問合せ先  
いくらの郷



TEL 0859-39-6655  
南部町下中谷1528 (入蔵)



▲ツリーハウスから見た火まつり (8月4日)



薪割作業

ブログを見ての

いくらの郷 検索



あとがき

今回の9月議会号に町政要望の途中経過と一部結果を掲載しています。

南部町議会が南部町に対して提出する町政要望のスケジュールはおおむね次の通りです。

町に対して議会として提出する町政要望の取り纏めを12月議会で行い、1月に要望します。

内容については12月議会号に掲載します。町からの最初の回答は2月にあります。

内容については3月議会号と6月議会号に掲載します。

そして9月議会号により結果と途中経過を掲載します。

12月議会号で次の町政要望の取り纏めに取り掛かる予定です。

(加藤)

【訂正】

76号3ページ 発議案13号

米澤議員は反対となっておりますが賛成の間違いです。訂正いたします。

広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

加藤 学

塔田 光雄

景山 浩

板井 隆

白川 立真

長束 博信

仲田 司朗

荊尾 芳之